

室つくる計画とします。

その他、事務室やエントランスホール、待合ロビー、キッズコーナー、授乳室、僧侶控室などを設置する予定です。

周辺の環境や地形を生かした緑化や植栽、構内の車両動線に配慮した配置計画とします。

3. 必要な火葬炉数

市の人口は、2007年度の3万6648人から2016年度までの10年で3421人（約9%）減少しています。一方で死亡者数は、2016年度が381人で、44人（約13%）増加しています。

将来の人口予測をもとに計算すると、新たな火葬場に必要炉数は2炉となりました。

4. 市営墓地

火葬場に市営墓地を併設した場合、利便性は高まるものの必要面積や工事費が増大し、用地確保が困難となります。そのため、市営墓地「栗ノ原霊園」の未利用地を生かした墓地整備と集合型の墓所「納骨堂」や「樹木葬」などの整備を検討します。

御前崎市の将来推計人口

年度	人口(人)	死亡者数(人)	死亡率(%)	火葬炉数(炉)	全国平均死亡率(%)
2007年度	*36,648	337	0.92	—	0.88
2011年度	*35,276	396	1.12	—	0.99
2016年度	*33,227	381	1.15	—	1.03
2020年度	31,833	401	1.26	2炉 + 予備空間	1.13
2025年度	31,275	438	1.40		1.25
2030年度	30,661	466	1.52		1.36
2035年度	30,005	492	1.64		1.47
2040年度	29,164	504	1.73		1.55
2041年度	28,818	501	1.74		1.56
2042年度	28,620	501	1.75		1.57
2043年度	28,422	500	1.76		1.58

*のついた数値は住民基本台帳人口

出典：御前崎市火葬場整備基本構想

5. 葬儀式場

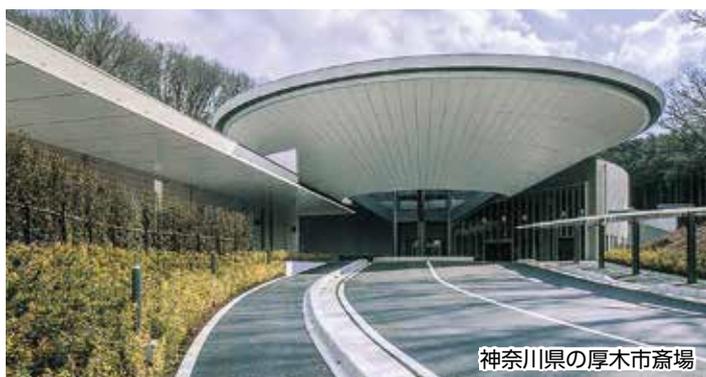
一般的に葬儀は、地域の慣習に根付いたものですが、最近では家族葬などの少人数の葬儀が増えるなど、形態が多様化しており、この傾向は今後も続くことが予想されます。

現在、市内には民間の葬儀式場があるため、原則として火葬場に葬儀式場は併設しない予定ですが、直葬などに対応できる施設づくりを検討します。

6. 建設候補地の選定

候補地の選定は、関係法令などの客観的評価項目と周辺環境やインフラ整備などの主観的評価項目で評価し、適地を絞り込んでいきます。さらに、平成30年度に「御前崎市火葬場建設候補地検討委員会」を立ち上げ、1年かけて市内全域を対象に候補地を選定していきます。

委員には、町内会の各地区代表、商工会の代表、農業委員会の代表、市民代表（女性、子育て世代）、日本環境斎苑協会主任研究員、市から副市長、市民生活部長を選任する予定です。今後、この委員会で話し合われた内容は、広報おまえざきでお知らせします。



神奈川県厚木市斎場

※1 ハートビル法：高齢者や身体障害者など、円滑に利用できる建物の建築を促進する法律。

※2 ユニバーサルデザイン：年齢や性別、障がい有無などに関わりなく、誰もが使いやすいデザイン。

※3 直葬：通夜や告別式などの宗教儀式を行わない、火葬のみの葬儀形態。